

平成23年度  
実施事業

平成24年度作成

事務事業名	幼児歯科保健対策事業
-------	------------

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	2	母子保健の充実
主要な施策	4	母子の歯科保健の充実
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 元 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

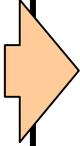
目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	保護者の口腔衛生意識の向上を図り、必要な知識・技術を身につけるとともに、フッ素塗布を行いむし歯を予防する
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>フッ素塗布 初回は1歳6か月児健康診査にあわせて、希望者に対し塗布する。その後、4歳未満まで6か月おきに4回塗布を実施している。</p> <p>親子むし歯予防教室 広報紙・対象児への個人通知により周知を図り、申込制で実施。歯科医師によるむし歯予防の講話・歯科検診・ブラッシング指導、保健師・栄養士による育児相談・栄養相談を実施 年2回 定員 20名/回</p>
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	むし歯予防のための生活習慣に心がけ、フッ素の効用を理解し活用することで将来にわたり歯の健康が維持できる。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	母子保健法、健康増進法

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円	558	514	520	520	520
一般財源	名称	千円	653	128	182	182	182
事業費 合計			1,211	642	702	702	702

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	フッ素塗布実施数	人	目標値	640	650	650	650	650
			実績値	698	644			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3歳児歯科健康診査むし歯保有率は24.9%で、1.6歳児歯科健康診査時2.3%（平成22年度）からみると急激な伸びとなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児期のむし歯予防予防のため、口腔衛生に必要な生活習慣について理解し、むし歯予防の知識・技術を身につける。</li> <li>またフッ素を利用したむし歯予防を推進する。</li> </ul>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 将来を通して口腔衛生を維持することは重要と考えることから、市として事業を行うことは妥当と考える
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 むし歯保有率が年齢がいく事で高くなるため幼児期からの虫歯予防が、将来にわたる歯の健康へと繋がっていくため必要性は高い
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 経費の大半は歯科医師会・衛生士会への委託料であり、必要最低限の経費で実施している
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 フッ素塗布を継続していることで虫歯予防につながっている為、成果はあがっている。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	将来にわたり、自分の歯で食事ができることが多くの人の願いで、そのために乳幼児期からの虫歯予防のための生活習慣等に心がけるよう喚起していくことは、重要である。
----	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
----	----